

バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）の検出について（第一報）

この度、当院に入院しておられた患者さんから、多剤耐性菌である VRE が検出されましたので報告いたします。

2022 年 1 月 13 日に一人目の患者さんの VRE 保菌が確認されたため、同時期に同じ病棟に入院しておられた患者さんの便培養（スクリーニング検査）を行なったところ、計 17 名の患者さんの VRE 保菌が確認されました。感染症を起こしている患者さんはおられず、全員「保菌」の状況と判断しています。

現在、関連する方の保菌状況を確認するためスクリーニング検査を実施しておりますが、検査対象となる患者さんには、当院より個別にお知らせ・ご案内をさせていただいておりますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

当院では 1 月 17 日に山口健康福祉センターに報告を行い、感染対策を強化するとともに、当該病棟への新規患者さんの受入を一時停止しています。当該病室の安全の確認、および業務再開に向けて引き続き取り組んでまいります。

皆さまには、ご心配とご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力の程よろしくようお願い申し上げます。今後の状況につきましては、引き続き当ホームページで報告させていただきます。

2022 年 1 月 25 日

総合病院 山口赤十字病院

院長 末兼 浩史

<VRE について>

VRE とは、バンコマイシン耐性腸球菌（Vancomycin-Resistant Enterococci）のことです。

腸球菌は、ヒトや動物の消化管や外生殖器に常在する菌です。病原性は弱く、易感染患者（免疫力が低下している人など）では尿路感染症、創部感染症、敗血症などを起こすことがありますが、健康な人で感染症を起こすことは稀です。このため、保菌のみで特別な体調変化がなければ治療の必要は無いと考えられています。